※記載例を参照の上、ご記入ください。

（様式第3号）

企業・団体名（　株式会社 MES甲信　）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）【R5.11.30様式改定】

	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・雇用条件・働き方において、差別のない体制を構築しており、性別、年齢、障がいの有無により差別が発生していないことを確認、相談窓口の整備も進めている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・ハラスメントの防止について、就業規則に規定あり。 ・管理部に相談窓口を設置、定期的なヒアリングを行う予定。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・36協定を締結し、社員一人一人が労働時間を意識して業務に取り組んでいる。 ・会社として労働時間を把握し、朝礼や会議で残業時間・有給休暇の呼びかけを行っている。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・雇用条件・働き方において、差別のない体制を構築している。 ・住宅等の生活の手続きを代理または一緒に行い、困ったことがあれば一緒に解決していけるようサポート。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・朝礼や会議で労災事故防止に努めるよう安全作業についての確認を徹底している。 ・万が一労災事故が発生してしまった場合のフローを各所へ掲示。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・半年に一回従業員全員の面談を実施。 ・仕事やプライベートでの悩みを抱えている場合は改善できるよう、会社としても最善を尽くしている。 ・要望があれば上司による個別面談を随時実施している。			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・年齢や性別関係なく、仕事に対する取組みや成果で評価をしている。 ・これまでに未経験の派遣社員として入社した女性4名が、正社員へ登用されて活躍している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・社外の研修会やセミナー、勉強会へ積極的に参加できる環境整備を行い運営している。 ・社内でも必要に応じて部署ごとの勉強会を実施。				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・個人の能力によって賃金を決定している。 ・定期昇給とは別に、個人の成績や成果を評価した、報奨金の支給、昇給の実績あり。 ・労働契約法、パートタイム労働法等の改正内容を理解し、態勢整備を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・年1回全員が必ず定期健康診断を受診。 ・毎朝朝礼前にラジオ体操の実施。			3					8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・法律に基づき産廃業者へ処理を依頼。 ・マニフェストを保管し廃棄物管理を行っている。											11.6	12.4		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・毎月の電力や各種燃料の使用量を把握し、年間の使用量を分析、次年度に活かす取組みを始めている。							7.3						13				
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・現状分析を進めており、排出抑制につながる取組みの準備を始めている。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			・業務上で発生する化学物質の有害性の分析を進めており、適切な使用と使用量の抑制への準備を始めている。			3.9			6.3					11.6	12.4					

	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本		【予定】	・廃棄物や排水等の管理には万全を期しているが、2024年6月より、月に1度会社周りの清掃活動を実施予定であり、周囲の自然環境の向上に積極的に取り組んで行く。						6.6									15		
16		【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・グリーン購入、再生紙の活用やリサイクル用品の積極活用を進めていく方針。												12.5		14.1			
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			・自社の水源を含む水利用状況を把握し、使用量削減について口頭で呼びかけをして推進している。						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ		【予定】	・取得に向けての準備を行う。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			・情報開示に向けての準備を実施。												12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			・本社社屋に太陽光発電パネルを設置することで、再生エネルギーの積極利用を進めている。							7.2						13				
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	・現状確認と今後に向けた取り組みを実施する。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・HPのコンプライアンス宣言内に『法令遵守意識の徹底』を掲げ、社員へ周知徹底している。																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・HPのコンプライアンス宣言内に『法令遵守意識の徹底』を掲げ、社員へ周知徹底している。																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・就業規則に規定あり。また、情報を公開する取引先とは必ず機密保持契約書を締結し、知的財産の保護に取り組んでいる。								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			・業務上で知り得た個人情報は、データについては関係者以外は見られない様パスワードをつけて保存している。紙ベースの物については鍵のかかるロッカーで保存し、担当者以外は開けられないようにしている。																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	【非該当】		・取扱が無いことを確認。																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			・自社の取組みを進めるとともに、取引先との共有化を進める。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	・「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表準備を進めており、2024年中に公表予定。			3					8	9	10							17

		チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			・装置使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。 ・安全性を踏まえた製品の取扱説明書を作成・交付。			3.9									12.4					
30	製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			・不具合やクレーム発生時はすぐに現場へ担当者が向かい、現状把握及び改善に努める体制を構築している。									9								
31	製品・サービス	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			・金属の廃棄量を削減するための設計や調達を実施。 ・余った金属部品を再利用し、社内の備品を製作、活用している。						6						12	13	14	15		
32	製品・サービス	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			・省人化・省力化を目的とした産業用機械装置を製造・販売している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			・金融機関や法人会主催のイベントの参加。 ・近隣企業の取り組みや仕事の状況などの情報交換から、弊社の状況を把握して、改善に役立てている。				4					9		11	12		14	15		17
34	社会貢献・地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			・2022年11月に地元の中学生の職場体験を受入。 ・装置製作の工程であるフレームの組立とロボットプログラミングを体験してもらい、エンジニアという職種について知ってもらった。				4							11			14	15		17
35	社会貢献・地域貢献	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ		【予定】	・今後の事業展開において検討を行う。								8	9		11	12	13				
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			・会社理念・行動指針・大事な価値観・スローガンを明文化し、期首の全体会議資料に掲載、事務所内に掲示。								8	9								17
37	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			・会社理念・行動指針・大事な価値観・スローガンを明文化し、期首の全体会議資料に掲載、事務所内に掲示。 ・コンプライアンス研修実施を計画している。																16	
38	組織体制	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本		【予定】	・現在は社長が代表として取りまとめを行っているが、組織としての体制づくりを検討していく。																16	
39	組織体制	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			・2024年7月に展示会を名古屋で実施することを決定。 ・製品のアピールと同時に情報収集を図り、今後の事業活動に活かす																16	17
40	組織体制	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ		【予定】	・事業活動におけるリスクの洗い出しを進めており、2024年度は具体的な対策を検討する。																16	
41	組織体制	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	・現状の取組みを進展させ社会的責任を踏まえた対応を行っていく。																16	
42	組織体制	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ		【予定】	・災害時の緊急連絡網の整備に加え、BCPを整備することで2024年度中に実効性のある計画づくりを進める。									9		11		13 13.1			16	
43	組織体制	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ		【予定】	・今後の課題の一つとして検討を行う。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、ＮＡＧＡＮＯものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件２」は、ISO26000（※１）、RBA（Responsible Business Alliance）（※２）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、　間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
※１…組織の社会的責任に関する国際規格　　※２…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定